

環境マネジメント活動－自然共生社会の実現に向けて

生物多様性の取り組み

DNPは、「自然共生社会」の実現に向けて、バリューチェーン全体での生物多様性への影響の最小化と、地域生態系との調和をめざしています。事業活動における生物多様性との関わりを検討し、「原材料の調達」と、「事業所内の緑地づくり」を重点テーマに取り上げ、具体的な取り組みを進めています。

原材料の調達

●「印刷・加工用紙調達ガイドライン」

2012年8月、DNPは、事業活動を行う上で生態系への依存と影響が大きい「紙の調達」に関し、持続可能な森林資源の維持を目的として「DNPグループ印刷・加工用紙調達ガイドライン」を策定しました。サプライヤーと用紙の選定基準を定めたもので、ガイドライン適合品の調達比率100%をめざし、森林認証紙の積極的な使用やトレーサビリティの確保などを進めています。

事業所内の緑地づくり

DNPは、周辺といきものがつながる「事業所内の緑地づくり」を進めています。事業所緑地は、出入りが管理されているため、動植物の盗掘や乱獲を防ぐことができ、また、天敵や外来種の侵略による食害のリスクも少なく、生物多様性保全に大きく貢献できます。DNPは各拠点の敷地内で、絶滅危惧種の保全や地域生態系に配慮した緑地の創出など、地域に根差した活動を展開しています。

「生物多様性のための30by30*アライアンス」自然共生サイト認定相当に選定



新しい価値の創出に向けた中心的な拠点として、本社のある東京・市谷地区の再開発を進めています。この都市計画の一環で、「都市における新しい森づくり」として、かつての武蔵野の雑木林をイメージした緑地「市谷の杜」を育てており、ビジネスの拠点と環境への貢献の両立をめざしています。

この「市谷の杜」は、環境省が主導する「生物多様性のための30by30アライアンス」の実証事業において、自然共生サイトの認定相当に選定されました。多様性あふれる「市谷の杜」の成長とともに、市谷地区を原点とした新しい価値の創出に努めていきます。

* 30by30：国連生物多様性条約第15回締約国会議で採択された、2030年までに陸域と海域の30%以上を健全な状態に保全するという目標

各サイトの取り組み事例

**北海道コカ・コーラボトリング
白旗山の森づくり**
製品に使用する水の水源地白旗山での植樹活動や自然散策を実施



**DNPテクノバック
札幌工場
AMAサポーターズ倶楽部**

**DNPファインオプトロニクス 上福岡工場
コハナヤスリの敷地内保護**
敷地内に自生した絶滅危惧種コハナヤスリの生育場所の保護



**DNPデータテクノ 京都南工場
京都府絶滅危惧種の栽培**
京都絶滅危惧種であるノカンゾウ・アヤマ・フジバカマを栽培。太陽光電源を使用した雨水散水システムにより維持管理



**ディー・ティー・ファイン
エレクトロニクス
北上工場
希少種の敷地内保護**

**DNP東北
宮城県100万本
植樹事業**

**DNPファインケミカル宇都宮
外来種ニセアカシアの排除**

**技術開発センター、
DNPデータテクノ
牛久工場
霞ヶ浦アサザの再生**

**技術開発センター
敷地内に自生する松の幼木保護**

**岡山工場
地元植生のチガヤ草づくりによる
いきもの生息域確保**

**DNPファインオプトロニクス
三原工場
エヒメアヤマ自生地保護**

**DNP高機能マテリアル 戸畑工場
北九州市の植樹プロジェクト**



**DNP四国
新町川を守る会**

**名古屋地区
庄内川ヨシ刈り**

**DNPデータテクノ 奈良工場
奈良県絶滅危惧種の栽培**
奈良県絶滅危惧種であるフジバカマを栽培し、葉を乾燥させておおい袋として活用



**ディー・ティー・ファイン
エレクトロニクス 川崎工場
多摩川生息生物の飼育**

**相模容器
酒匂川水系のメダカの保護育成**

東京・市谷「市谷の杜」

本社所在地である東京・市谷で「市谷の杜」計画を推進。四季を感じる豊かな景観をめざす



**DNPメディアサポート
希少植物ミズアオイの育生**

大阪府絶滅危惧種であり、過去にサイト周辺に原生していたミズアオイを栽培



**DNPテクノバック横浜工場
ノカンゾウの敷地内育生
「水マス推進サポーター」に認定**